

24年産米状況

7/15現在の作柄概況 (農林水産統計資料より)

農林水産省は7月27日、平成24年産米の7月15日現在の作柄指数を発表しました。

＝高知県、宮崎県及び鹿児島県における早期栽培の作柄は、3月下旬から4月上旬の低温等や5月下旬の日照不足の影響により平年並みないしやや不良が見込まれ、沖縄県の第一期稲は全般的に生育・登熟が概ね順調であったものの、一部地域で田植え後の少雨により収穫皆無となる被害が発生したことからやや不良が見込まれる。＝とあります。

高知 やや不良
宮崎 やや不良
鹿児島 平年並み
沖縄 やや不良

(やや不良＝作況指数95～98、平年並み＝作況指数99～101)



先週売上のベスト5

<精米>

- 第1位 トキ 新潟コシヒカリ
- 第2位 純太
- 第3位 無洗米 ブルー
- 第4位 たべざかり
- 第5位 福井 ハナエチゼン

お盆期間中の8月13日(月)～15日(水)

誠に勝手ながら配送はお休みさせていただきます。

受注業務は通常通り行います。

今週の玄米入荷情報

- 岩手 ひとめぼれ
- 宮城 ひとめぼれ
- 宮城 ササニシキ
- 栃木 コシヒカリ
- 長野 コシヒカリ 佐久
- 佐賀 夢しずく

24年産各地の放射性検査

岩手＝簡易測定による測定値が新基準の1/2 (50bq)を超えた場合、岩手県の方針に基づきゲルマニウム半導体検出器により測定し、その結果を最終結果として扱うこととします。

栃木＝国の指針により区域ごとに検査密度を設定しました。その結果検査点数は23年産米の10倍以上となります。それぞれの区域ごとに結果判明まで出荷待ちとなるため、2段階での検査体制により出来る限り迅速な検査が行えるように準備をしているようです。

茨城＝3区分の重点区域における検査点数1204点と主要地域及び重点区域外の検査点数120点の合計1324点(推定)の検査を実施することとしました。昨年比3倍以上の検査点数に対応するために検査機器の増強を行いスムーズな出荷に備えるとしています。

千葉＝県独自の重点検査地域を設定し、昨年より約1割検査点数を増やしました。国の出荷制限基準が100bq/kgに引き下げられたのを受け、定量下限値 (ND) を20bq/kgから一桁レベルに引き下げを行うことを検討しているようです。作業の状況によっては、出荷開始時期が昨年より遅れる可能性もあるとしています。